



聖書
テーマ
暗唱聖句

出エジプト 12・1~14

逾越

わたしはその血を見て、あなたがたの所を過ぎ越すであろう

出エジプト 12・13

目標

キリストの血により罪赦され、神の裁きから守られる者となる。

1月5日(日)

聖書
聖句

出エジプト 12・13

わたしはその血を見て、あなたがたの所を過ぎ越すであろう 13節

イスラエルの人々を救うため、神様はエジプトに九つの災いを起こしました。でもエジプトの王様はイスラエル人を去らせてくれません。とうとう、神様は十番目の災いに、エジプト中の家で、初めて生まれた男の子は、人も家畜も滅ぼすと決めました。

じゃあ、神様を信じている、エジプトの中のイスラエル人は？ 人々は家の2本の門柱とかもいに羊の血をぬり、その血のしるしを見て、神様はその家で初めての男の子を滅ぼさなかったのです！ 神様がエジプトにいるイスラエル人を救う方法を用意されたのです！

祈り

天のお父様、あなたを信じる人に救いの方法を用意して下さい感謝します。

1月6日(月)

聖書
聖句

出エジプト 12・1~2

この月をあなたがたの初めの月とし、これを年の正月としなさい。

1節

イスラエル人がエジプトを出る日が来ました！ 神様は、この月をイスラエル人の「歴史が変わる日」「新しいスタートの日」と決められたの。奴隷にしていたエジプト、本当の神様ではない沢山の神々が拝まれていたエジプトをぬけだし、本当の神様に従って歩き始めるすばらしいとき、新しい人生が来るのです！

あなたも、今までの古い生き方を変え、罪からぬけ出そう！ そして、イエス様を信じて心におむかえし、新しい命をいただいて、神様に従うすばらしいスタートをしよう！

祈り

天のお父さま、今までの自分の生き方からぬけ出して、イエス様を信じ、新しいスタートをします。

1月7日(火)

聖書
聖句

出エジプト 12・3~5

子羊は傷のないもので、一歳の雄でなければならない。 5節

どうしてイスラエルの人が羊の血を柱とかもいにぬって救われたかわかりますか？

それは、まだ罪を知らない羊の血が、イスラエルの人々の罪の身代わりに死んだことを知らせてくれたからなんです。

罪のない羊が死んだから、その家に住んでいる人はもう神様に赦され、罰を受けなくてよい、ということなんだね。

十字架で血を流されたイエス様を見て！ あなたの罪の身代わりに、あなたがもう罰を受けなくてよくなるために、血を流して死んでくださった罪のない羊、それがイエス様なんだよ！

祈り

天のお父様、わたしの代わりに血を流されたイエス様をありがとうございます。

1月8日(水)

聖書
聖句

出エジプト 12・6~7

その血を取り、小羊を食する家の入口の二つの柱と、かもいにそれを塗らなければならない。 7節

神様は、イスラエルの人たちを救うために一つの方法を用意されました。もし、イスラエル人が神様の方法に従わなかったら？ そう、従った人だけが救われる、というのが神様の約束だったの。

神様は、わたしたちを愛し、だれも滅んでほしくないと思っています。そして、イエス様という、たった一つの救いの方
法を用意されました。救われるためには、わたしたちの罪の身代わりに死なれたイエス様の十字架の血を信じること。方法はただ一つなんです！

祈り 天のお父様、イエス様の十字架だけがわたしたちを救うたった一つの方法であることを信じます。

1月9日(木)

聖書
聖句

出エジプト 12・8~10

火に焼いて、その頭を足と内臓と共に食べなければならない。 9節

どうしてまるごと羊を食べるの？ それはね、自分の身代わりに裁かれた羊の命をまるごと受け入れるため！ 食べることは受け入れること、受け入れることは信じることなんです！

あなたは、教会に行き、聖書のお話を聞き、イエス様があなたの罪の身代わりに十字架にかかって死んだことを聞いているでしょう？ でも、耳で聞いて、頭ではわかっていても、心の中にイエス様を受け入れたでしょうか？

聞くよりもっと大事なことは受け入れることなんですよ！ 受け入れるとき、イエス様の命があなたを造り、生かしてくれるのです！

祈り 天のお父様、わたしもイエス様の命を受け入れて、生きていきます。

1月10日(金)

聖書
聖句

出エジプト 12・8~10

朝まで残るものは火で焼きつくさなければならない。 10節

あなたは、お友達
の身代わりになって大人の人から罰を受けたことがありますか？

罰
って燃える炎のように怖いものです！

でも、身代わりの羊が焼き尽くされたみたいに、罪を背負い、あなたのために、とことん罰を受けて下さったお方を思い出して！

十字架にかかる、ということは重い罪のある人が死ぬための罰です。でも、イエス様は神様のひとり子で、罪がないのに、自分の命を捨ててまで、あなたの罪を背負って、あなたがかかるはずの十字架に、代わりにかけられたんですよ！ だからあなたが赦されるのです！

祈り 天のお父様、命を投げ出して、わたしの代わりにとことん罰を受けられたイエス様の十字架を感謝します。

1月11日(土)

聖書
聖句

出エジプト 12・13

その血は…あなたがたのために、しるしとなり、わたしはその血を見て、あなたがたの所を過ぎ越すであらう。 13節

罪がある人となない人、どうすればわかりますか？ また、どうすれば天国に行けますか？ いい子だから？ 家族がクリスチャンだから？ あなたが教会に行っているから？

それは、私たちが決めるのではなく、神様だけが決めること。小羊の血のしるしを見て、神様が過ぎ越されたように、あなたの心の中に、十字架で死なれたイエス様の血のしるしがあるかどうかを、神様は見て、決めるんです。十字架は、救いの完全な約束だよ！ 信じよう！

祈り 天のお父様、わたしもイエス様の十字架を信じます。そして、救いの約束をいただいて生きていきます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

出エジプト 14・10～27

海を渡る

かたく立って、主がきょう、あなたがたのためになされる救を見なさい。 出エジプト 14・13

目標

難しい状況の中でも助けくださる神を信頼する。

1月12日（日）

聖書
聖句

出エジプト 14・13

かたく立って、主がきょう、あなたがたのためになされる救を見なさい。 13節

わたしたちは生活の中で、いつも何かを信じて生きているよね？ たとえば、ごはんやおやつを食べるときも、それが食べ物で、食べてよいものだと信じているから口に入れられるんでしょう？ ぎゃくに、信じていなかったら食べることはできないうもね！「信じる」ってことはつまり、行動につながっているんだよ。神様はね、「信じてよーく見なさい！」と言っておられるね。あ、そうだ。わたしたちは神様を信じていたはずなのに、なんにも行動できていなかったね。神様のなさることを自分の目でしっかり見なきゃ！

祈り

天のお父様、信じることは行動につながると教えてくださって感謝します。

1月13日（月）

聖書
聖句

出エジプト 14・10～12

荒野で死ぬよりもエジプトびとに仕える方が、わたしたちにはよかったのです 12節

こわい！ どうしよう！ と思うとき、だれでも「やっぱり前のほうがよかったのに！」と文句をいってしまうものです。

イスラエルの人も「奴隷だったエジプトでの生活のほうがまだマシだった！」だって。

でもそうかな？ 神様がイスラエルの人を救うためにされたたくさんの奇跡を、エジプトでも見てきたはずなのにね。

それって、ちっとも神様を信じられてないのといっしょじゃない！？

祈り

天のお父様、あなたがしてくださったことをたくさん見たのにつぶやいてしまう弱いわたしたちです。もっと信じられますように。

1月14日（火）

聖書
聖句

出エジプト 14・13～14

主があなただのために戦われるから、あなたがたは黙していなさい 14節

自分に起きることは自分のこと。だから自分が危なくなったら大パニック！ そんな気持ちもわかるよ！ でも神様にとってはそうじゃないんだって。

一人一人の人生は、神様の計画された、神様のもの。あなたがどんなにいやだと思えることが起きたとしても、神様はそのまま放っておかれなくて、その中で、どんなに神様がすごいかを見せたいと思っておられるんだ。

そう、神様はわたしの人生で、わたしのために戦ってくださるお方だったね！

祈り

天のお父様、わたしのために戦ってくださることを感謝します！

1月15日(水)

聖書
聖句

出エジプト 14・15～18

あなたは、なぜわたしにむかって叫ぶのか。イスラエルの人々に語って彼らを進み行かせなさい。 15節

神様は、わたしのために戦われるって、昨日聞いたけど、それは、人がなにもしないでぼーっとしてていいって意味じゃないんだ。

それには、わたしたちが「はい!」と言って神様が言われたことを「やってみる」っていう気持ちが必要なんだよ。

わたしたちが神様の言っておられることに従ってみるときに、神様の計画しておられたことがドカーン! と目の前で起き始めるよ。

さあ、あなたの人生にはどんなことが起きるかな!!

いの
祈り

天のお父様、あなたがわたしに語られることを「はい!」と言ってすることができまうように。

1月16日(木)

聖書
聖句

出エジプト 14・19～22

モーセが手を海の上にさし伸べたので、主は夜もすがら強い東風をもって海を退かせ、海を陸地とされ、水は分かれた。 21節

もしモーセが、神様の言うことを信じず、聞かず、いっしょにいるイスラエル人とぶつぶつ文句を言い、海に向かって手をさし伸べなかったら?…考えただけでおそろしい!

神様の計画はいつもわたしたちには見えづらく、わかりにくいよね。だけど、聞いて従うことなしには始まらないんだ。

たった一人でも聞いて従ったら、自分だけでなく、自分のまわりの人のためにも、神様は助ける方法を用意してくれるでしょ!

いの
祈り

天のお父様、だれかが聞き従わない時も、信じて従う心を持って生きることができまうように。

1月17日(金)

聖書
聖句

出エジプト 14・23～25

エジプトびとは言った、「われわれはイスラエルを離れて逃げよう。主が彼らのためにエジプトびとと戦う」。 25節

どう見たってぜったい強くてこわいエジプトの軍隊と、どう見たって弱くて何も持っていないイスラエルの人たち。でもね、イスラエルの人たちといっしょに神様がいて知ったとたん、エジプトの軍隊だって「逃げなきゃ!」と思っただけです。

どんなこわい人がやってきたって、あなたといっしょに神様がいてなら、なにもこわいことなんてないって、わかるでしょ!

いの
祈り

天のお父様、あなたがいっしょにいてくださるから、どんな人も、どんなことも、こわがりません!

1月18日(土)

聖書
聖句

出エジプト 14・26～27

主はエジプトびとを海の中に投げ込まれた。 27節

海が真っ二つになって海をわたった話なんて、聖書の作り話だよ! という人がいます。

でもね、聖書のお話をもとにして、証拠を探したら、アカバ湾のヌウェイバビーチという場所の海の底から、沈んだエジプトの戦車の車輪がたくさん発見されたなど、たくさんの証拠があるのです。

そう、聖書のお話はぜんぶ神様が、歴史の中に関わってくださった本当の物語なのです。

その神様はあなたの人生にも、今もかかわってくださっています。

いの
祈り

天のお父様、聖書のお話は歴史の事実であることを教えてください感謝します。



聖書
テーマ
暗唱聖句

出エジプト 16・31-36
荒野で与えられた食物
イスラエルの人々は人の住む地
に着くまで四十年の間 マナを
食べた。 出エジプト 16・35

目標

神による養いと守りがあるこ
とに信頼して生きる。

1月19日(日)

聖書
聖句

出エジプト 16・35
イスラエルの人々は人の住む地に
着くまで四十年の間 マナを食べた。
35節

エジプトを出たイスラエル。お店もお水もな
んにもない、カラカラの砂漠でなんと四十年
も生活したんだって！ のどはかわくしおなか
もすいて、おまけにへとへと。でも、神様はそ
の間もずっとイスラエルの人たちに一日一日、
必要なものを与えつづけてくださったよ。その
ことで、イスラエルの人にはだれかや何かにたよ
るのではなく、ただ神様にたよればいいという
ことを学んでいきました。

あなたも、くるしいとき、つらいとき、大変
なとき、どんなときも、必要なものをくださる
神様にたよってね！

祈り

天のお父様、必要なものをくださるあな
たにだけたよります。

1月20日(月)

聖書
聖句

出エジプト 16・31
イスラエルの家はその物の名をマ
ナと呼んだ。 31節

「あのときはよかったのに…」なんて今と前
のことをくらべてはブツブツ。一人でつぶやい
ているようでも神様は聞いているってこと、
知っているかな？

イスラエルの人も、まだ、神様にどうやって
たよったらいいかを知らない人たちでした。

マナとは「なにこれ？」って意味。神様は、
つぶやいてばかりの人たちにも「神様だけの
方法」でこたえて、天からとてもふしぎな食べ
物をプレゼントしてくれたんだ。

神様はあなたにも、神様だけのふしぎな方法
でこたえてくださることをわすれないでね。

祈り

天のお父様、わたしにもふしぎな方法で
こたえてくださることをありがとうご
ざいます。

1月21日(火)

聖書
聖句

出エジプト 16・31
イスラエルの家はその物の名をマ
ナと呼んだ。 31節

マナは、パンのようなもので白く、蜜を入れ
たおせんべいのような味だったんだって。

神様は毎朝ごとにマナをふらせてくれたん
だけど、神様のルールがあつてね。イスラエル
の人たちがそのルールに従うかどうか、見て
おられたよ。

神様は、神様が与えるものだけで人が生きる
こと、人が神様にだけたよって生きること、
一日一日わすれずに神様が助けてくださるこ
とをイスラエルの人に知らせたかったんだ。も
ちろん、わたしたち一人一人にもね。

祈り

天のお父様、あなたがわたしに教えよう
としていることを、わたしがしっかり知
ることができますように。

1月22日(水)



出エジプト 16・32

それを一オメルあなたがたの子孫
のためにたくわえておきなさい。
32節

マナはとてもふしぎな食べ物でした。毎朝、
自分が食べられる分だけを集めて食べると、の
こりは虫がついてくさくなったり、とけたりし
ました。そして、七日目が神様の安息日なので、
六日目だけは二日分集められたのです。

でも、神様は砂漠にいる人たちの体の心配
だけでなく、その後の人たちの心の心配もし
ていました。神様がイスラエルの人たちにされ
たことを、目で見て知ることができるようにし
てくださったのです。この、子孫のためのマナ
だけはくさらずに残すことができました。

祈り 天のお父様、体のことだけでなく、見な
いと信じられない人の心のことも心配
してくださりがとうございます。

1月23日(木)



出エジプト 16・33

一つのつぼを取り、マナーオメルを
その中に入れ、それを主の前に置いて、子孫のため
にたくわえなさい。
33節

くさらないマナは、神様がくれたたくさんの
恵みのしょうこ。モーセは、神様が命じたとお
りにつぼの中にマナを入れて残しました。

あなたにも、神様はたくさんのことをしてく
れているけれど、それをちゃんと心のつぼに
入れて残しているかな？あなたの心にある、
たくさんの神様からのおくりものを、あなたも
しっかりとたくわえてくださいね！そして、
神様を知らないといけないくさんの人に伝
えられますように！

祈り 天のお父様、心のつぼにあなたの恵み
をいっぱいたくわえます。だれかのため
にやくだちますように。

1月24日(金)



出エジプト 16・34

アロンはそれをあかしの箱の前に
置いてたくわえた。
34節

アロンって人が出てきたね。アロンはモーセ
のお兄さん。モーセが、イスラエルの人たちの
リーダーになって、神様が言われるところに行
きなさいと言われたとき、モーセは「そんなこ
とできない！！」と思っていました。そこで、
モーセが神様のために働けるように、アロン
をいっしょに行かせてくれたんだね。

アロンは、モーセの「できない！」と思うと
ころをしてくれるなかまでした。

あなたも、神様のためにはたらくときには、
ちゃんとアロンのような人が与えられるよ。

祈り 天のお父様、一人じゃあなたのために何
にもできないですが、アロンのような助
けも与えてくださることは感謝です。

1月25日(土)



ヨハネ 6・30～35

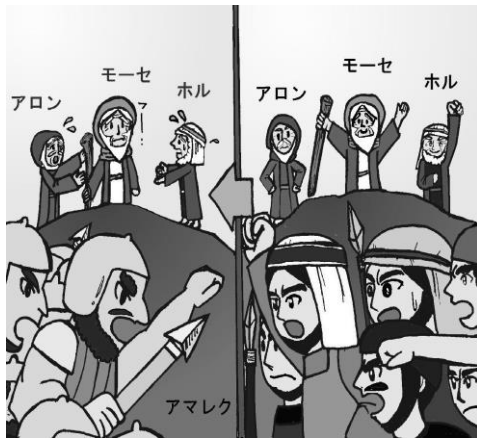
わたしが命のパンである。 35節

イスラエルの人たちが食べたマナは、食べた
らなくなり、またおなかがすいてしまうもので
した。それが四十年つづいただけでもびっく
りだけど、人の心はまんぞくできないんだ。

でもね、神様があなたにしてくれた、さいこ
うでさいだいのできごとを思い出して！

イエス様が命のパンだということ。それは、
イエス様があなたのために十字架で自分の体
をひきさいて、血を流してくれたことを、心の
中にいただくことだよ。そのときに、あなたに
は永遠の命、本物の命がもらえるんだね。そ
して、それは消えてなくなるものではなく、ず
～っと続いていくものだね。

祈り 天のお父様、あなたがわたしにしてくだ
さった一番のこと、それはイエス様をく
ださったことです。ありがとう！



聖書
テーマ
暗唱聖句

出エジプト 17・8～16

祈りの手

モーセが手を上げていますとイスラエルは勝ち、手を下げるとアマレクが勝った。

出エジプト 17・11

目標

御国のための戦いにおける祈りの重要性を知って、祈る者となる。

1月26日(日)

聖書
聖句

出エジプト 17・11

モーセが手を上げていますとイスラエルは勝ち、手を下げるとアマレクが勝った。 11節

「わたしってなんの力もないな～」「だれのおかげにも立たないな～」なんて思っている人、いませんか？ でもね、おじいちゃんになったモーセの、このすがたを見て！

だれかがたいへんな思いをしているとき、モーセのようにお祈りの武器でたたかうことができるって、小さいことではありません。いえ、お祈りこそ、あなたにとってさいだいの力になるってことを知ってくださいね。

神様を信じてお祈りする人に、神様はかならずこたえて勝利をくださるよ！

祈り

天のお父様、お祈りはわたしの力になることを信じます。

1月27日(月)

聖書
聖句

出エジプト 17・8

ときにアマレクがきて、イスラエルとレピデムで戦った。 8節

イスラエルの人たちは、カラカラの砂漠での毎日。それだけでもたいへんなのにアマレク人という、戦うことが大好きな人たちに攻められてしまい、戦わなければ生きられません！

あなたのまわりにも、神様を信じていることをじゃまし、こうげきしてくるものはある？

でもね、神様を選んだ人たち、神様を信じる人たちにこうげきしてくることは、神様にむかってこうげきするのといっしょなのです。

神様をおそれないことはこわいことです。だって神様は、だまって見てはいないから！

祈り

天のお父様、あなたを信じる人をこうげきしてくるものは昔も今もありますが、あなたが見ておられるのですね！どうかお守りください。

1月28日(火)

聖書
聖句

出エジプト 17・9～10

ヨシュアはモーセが彼に言ったようにし、アマレクと戦った。 10節

ヨシュアは、モーセのあとでイスラエルのリーダーになる人でした。モーセは、イスラエルを守るために、ヨシュアに人を選ばせて、アマレク人と戦いなさいと言いました。

ただでさえ、砂漠の生活で、体も心もヘトヘトだし、おまけに戦うくんれんもしたことはありません。それに、アマレク人は戦争が大好きで武器もたくさんあって強かったのですから、ヨシュアはきっと戦うことはこわかったと思います。でも、ヨシュアは神様とモーセの言うことにすぐに従ったのです！

すごい勇氣！

祈り

天のお父様、どんなにこわくても、立ち向かわないといけないとき、勇氣をだしてあなたに従えますように！

1月29日（水）

聖書
聖句

出エジプト 17・12

そしてひとりはこちらに、ひとはあちらにいて、モーセの手をささえたので、彼の手は日没までさがらなかった。 12節

モーセがお祈りしている間、モーセのそばで手がさがらないようにささえてくれる人がいました。モーセの手がさがると、イスラエルはアマレク人に負けてしまうからでした。

どんなお祈りの戦士も、心と体がつかれて一人ではどうしようもなくなるときがあります。でも、いっしょにお祈りしてくれるなかま、いっしょに神様のためにはたらいてくれるなかまがいるなら、どんなにか助けになるでしょうね！ あなたもそんな人を見つけてね！

いの
祈り

天のお父様、いっしょにお祈りし合えるなかまとあなたのためにはたらいていきますように。

1月30日（木）

聖書
聖句

出エジプト 17・13

ヨシュアは、つるぎにかけてアマレクとその民を打ち敗った。 13節

ついに、イスラエルはアマレクに勝ちました！ ヨシュアやイスラエルの戦士が強かったから勝てたんだっけ？ ちがうよね！

ヨシュアのすなおに従う心、イスラエルのために命をかけて戦ったこと、そして、モーセがお祈りしつづけてくれていたことが、勝利のポイントだね！ 神様はちゃんと見ておられ、人の考えを超えた力をくださったね。

今日も、あなたの見えないところで、あなたのためにお祈りがささげられ、神様が助けてくださっていることをおぼえてくださいね！

いの
祈り

天のお父様、いつもだれかのお祈りがわたしのためにあること、あなたが助けていてくださることを忘れませんように。わたしもだれかのためにお祈りします。

1月31日（金）

聖書
聖句

出エジプト 17・14

わたしは天が下からアマレクの記憶を完全に消し去るであろう 14節

神様は、このできごとを書物に書いてのこし、次のイスラエルのリーダーになるヨシュアに伝えるようにと、モーセに命じました。

アマレクとの戦いは、これで終わったわけではなくて、これからもつづいていくものでした。そして、これからもしも思いをするかもしれません。でも、神様は、アマレクとの戦いがかならず終わる日が来ること、完全に勝利できることを知らせたかったんだね。

神様がかならずそうしてくださる日がくる！ と分かっているなら、あきらめず祈りつづけ、立ち向かいつづけられるんだね！

いの
祈り

天のお父様、あなたの約束があるので、わたしもあきらめず祈っていきます。

2月1日（土）

聖書
聖句

出エジプト 17・15～16

モーセは一つの祭壇を築いてその名を「主はわが旗」と呼んだ。 15節

あなたは、神様があなたにしてくださった一つ一つのこと、どれくらい思い出せるかな？

自分の力でしてきた！ とかんちがいしやすいわたしたちだけど、本当は、神様があなたのために戦ってくださっているんだ。

きっとこれからも、神様はあなたを助け、守り、救い出してくださるよ。そのとき、そのことを「あ～よかったな」だけで終わらせるのではなく、「あのとき、神様がこうしてくださった！」という感謝のしるしを、心の一ページ一ページにつけていってください。モーセが記念の祭壇を立てたようにね。

いの
祈り

天のお父様、わたしも心に一つ一つ、あなたへの感謝のしるしをつけていきます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨハネ 12・1～8
ナルドの香油
香油のかおりが家にいっぱいになった。ヨハネ 12・3

目標

キリストへの愛と献身を形に表す者となる。

2月2日（日）

聖書
聖句

ヨハネ 12・3
香油のかおりが家にいっぱいになった。3節

イエス様のことが大好き！でもこの気持ち、どうやってイエス様に伝えればいいかな！？

ベタニヤ村のマリヤさんは考えました。そしてとっても高価な、香りの強い、純粋な油をイエス様に注いでその気持ちを表しました。家中には、まるで「わたしはこんなにもイエス様を愛しています！」という気持ちがあふれ、広がるように、油の香りがいっぱいに広がりました。気持ちを表すのにぴったりな贈り物だと思わない！？

さあ、あなたは、どんな風に、イエス様に「ありがとう！だいすき！」の気持ちを贈る？

祈り

天のお父様、マリヤが感謝の気持ちを伝えたとように、わたしもその気持ちを行動でイエス様に伝えられますように。

2月3日（月）

聖書
聖句

ヨハネ 12・1
過ぎ越しの祭の六日まえに、イエスはベタニヤに行かれた。1節

イエス様が、神様のために働き始めた最初のころから、よく行っていたおうちがありました。それがこのベタニヤ村の重い皮膚病の人シモンの家とも言われる、マルタ、マリヤ、ラザロ三姉弟のいるおうちです。

昔は重い皮膚病にかかると、どこの家の人にも相手になんてされませんでした。でも、イエス様はちがったんだ。イエス様はこのおうちが大好きで、十字架にかかる一週間前、自分の命が狙われていた時なのに、自分が出かけて行ったんだ。イエス様を心から愛する人に、イエス様はどんなときもおしまずに愛を注がれること、わかるよね！

祈り

天のお父様、イエス様の愛の深さを教えてください。感謝します。

2月4日（火）

聖書
聖句

ヨハネ 12・2
マルタは給仕をしていた。イエスと一緒に食卓についていた者のうちに、ラザロも加わっていた。2節

最初にこの家に来た時、マルタねえさんは家事を手伝わない妹マリヤに怒っていたけど、今はとても楽しそうに、一人で家事をしてもなんだか満足そうです。そして、ラザロは、ほんの少し前に死んでいたのに生き返ったばかりです。なんにもしゃべらなくても、それだけでみんなキラキラ輝いていて、イエス様によって人生が大きく変わったことが伝わるね。

わたしにも、そこにいるだけで、イエス様が変わってくださったことがわかるくらい、キラキラできる日がくるかしら？ はい！ イエス様にであった日から、少しずつね！

祈り

天のお父様、わたしの存在も輝かせてくださること、感謝します！

2月5日（水）

聖書
聖句

ヨハネ 12・4～5

なぜこの香油を三百デナリに売って、
貧しい人たちに、施さなかったのか。 5節

みんな喜んで、イエス様のために自分ができることをしている、そんな楽しく美しい雰囲気の中で、たった一人、そうでない人がいました。イスカリオテのユダです。

ユダはマリヤが心からイエス様のためにしたことが「そんなもったいない！ ゆるせない！」と怒っています。

でも、ほんとうにそうかな？ 貧しい人にお金をあげることもきっと大切だけど、それがだれのために、どんな目的でしているかはもっと大きな問題だということ、知ってくださいね。

いの
祈り

天のお父様、いつどんなときも、神様とイエス様に喜ばれることをえらんで行えますように。

2月6日（木）

聖書
聖句

ヨハネ 12・6

彼がこう言ったのは…その中身を
ごまかしていたからであった。 6節

じつはユダは、お金のこと、自分が得できるかどうかで心がいっぱいになっていました。

イエス様のことでさえ、お金と引き換えにしようと考え始めていたのです。

お金そのものは知恵をもって使えば、悪いものではありません。だけど、お金が頭や心の中いっぱいになってしまうと、悪い方法でお金を稼いだり使ったりするようになります。

あなたが生きていくために必要なものは神様が与えてくださるもの！ お金のゆうわくは、悪魔のゆうわくになることがあることを知ってください。

いの
祈り

天のお父様、あなたが与えてくださるものをかしこく使っていくことができますように。

2月7日（金）

聖書
聖句

ヨハネ 12・7

この女のするまににさせておきなさい。わたしの葬りの日のために、
それをとっておいたのだから。 7節

イエス様のお弟子さんたちはみんな、イエス様のことを、スーパーヒーロー、救世主、と思っていました。だからイエス様が死ぬなんてありえない！ イエス様は新しいユダヤをつくる王様になるんだ！ と信じていました。

でも、イエス様のお話をしずかに、しずかに聞きながら、イエス様が死んで三日目によみがえることをふかくふかく信じて疑わなかった、それがマリヤです。

強くてふかい信仰をもったマリヤをイエス様はとても喜ばれました。

いの
祈り

天のお父様、わたしも、イエス様をどこまでも信じる信仰を持てますように。

2月8日（土）

聖書
聖句

ヨハネ 12・8

貧しい人たちはいつもあなたがたと共にいるが、わたしはいつも共にいるわけではない 8節

もうすぐお別れしなきゃいけない、大切な人がいたら、どんな言葉や態度をその人に見せる？ マリヤみたいする？ それともユダ？

イエス様はユダを怒るでも責めるでもなく、そこにいたほかのお弟子さんたちにも言い聞かせるように、ご自分がもうすぐ死なれることを話していますね。それは、もう何回も話されたはずの十字架と復活の話。お弟子さんがなかなか理解しなくても、ユダが裏切ることを知っていても、イエス様はどこまでも忍耐強く、優しく教えてくださったね。

いの
祈り

天のお父様、忍耐強い、優しいイエス様を大切に思っ生きていきます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨハネ 12・20～28

一粒の麦として

一粒の麦が地に落ちて死ななければ、それはただ一粒のままである。しかし、もし死んだなら、豊かに実を結ぶ。

ヨハネ 12・24

目標

一粒の麦として死んでくださったキリストによる救いを受け取る。

2月9日（日）

聖書
聖句

ヨハネ 12・24

一粒の麦が地に落ちて死ななければ、それはただ一粒のままである。しかし、もし死んだなら、豊かに実を結ぶようになる。 24節

今週は、「一粒の麦」がキーワード。麦と言えば、パンにうどん、ケーキなどの材料。いろんな食べ物にたくさんの麦が使われていますね。麦粒を土にまくと、新しい芽が出て、さらにたくさんの麦粒ができます。

たった一粒の麦が、たくさんの実を結んでいくように、イエス様のみ言葉を聞く人はたくさんの実を結ぶ、素晴らしい人生をおくることができるのです。さあ、今週もしっかりイエス様のみ言葉に耳をかたむけましょう！

いの祈り

天のお父様、わたしがたくさんの実を結ぶために、イエス様のみ言葉がよくわかるよう助けてください。

2月10日（月）

聖書
聖句

ヨハネ 12・20～21

「君よ、イエスにお目にかかりたいのですが」と言って頼んだ。 21節

イエス様が一粒の麦のお話をされたのは、過越の祭りがはじまる直前のこと。祭りで神様を礼拝するため、エルサレムの町はたくさんの人たちでワイワイ、ガヤガヤ。その中には、何人かのギリシャ人がいました。そして彼らは、「イエス様にお会いしたいのですが…」と弟子たちに頼んできたのです。

たとえユダヤ人ではなくても、「イエス様がどんなお方か知りたいな…」という気持ちがあったのですね。イエス様ってどんなお方か知りたいな！と思うことは大切なこと。祈ってみましょう。イエス様のすばらしさがもっとわかるようになりますよ。

いの祈り

天のお父様、イエス様がどんなお方なのか、もっともっと知りたいです！

2月11日（火）

聖書
聖句

ヨハネ 12・20～23

人の子が栄光を受ける時がきた。 23節

「イエス様、ギリシャ人たちが会いたいそうです」と弟子たちがイエス様に伝えました。するとイエス様は、「人の子が栄光を受ける時がきた」と言われました。

これは、イエス様が、ユダヤ人もギリシャ人も関係なく、すべての人のために十字架にかかる時がきた、という意味です。イエス様はすべての人の罪のみがわりとなって、命をすてて決心をされたのでした。イエス様をたずねてきたギリシャ人たちのことを心から愛して、彼らのためにも十字架にかかってくださったのです。そう、もちろんあなたのためにも。

いの祈り

天のお父様、イエス様がわたしのことを愛して、十字架にかかる決心をしてくださったことを心から感謝します。

2月12日（水）

聖書
聖句

ヨハネ 12・24

一粒の麦が地に落ちて死ななければ、それはただ一粒のままである。しかし、もし死んだなら、豊かに実を結ぶようになる。 24節

イエス様はつづけて言われました。「一粒の麦を土にまかなければ一粒のまま。しかし、土にまいてその麦が死ぬと、たくさんの実をむすびます」。一粒の麦は、土にまかれると新しい芽を出して、ボロボロになって消えてしまいます。でも、新しい芽はグングン育ってたくさんの麦粒をみのらせるのです。

それとおなじ。イエス様が一粒の麦となって十字架の上で死んでくださったので、すべての人が永遠の命をいただくことができるのです。

祈り

天のお父様、イエス様が一粒の麦となって、わたしにまで永遠の命をあたえてくださったことを感謝します。

2月13日（木）

聖書
聖句

ヨハネ 12・25～26

この世で自分の命を憎む者は、それを保って永遠の命に至るであろう。 25節

わたしたちが自分のことだけ考えて、自分のためだけに生きていくなら、永遠の命は与えられません、とイエス様は言われました。逆に、自分のためだけでなく神様のために生きていくなら、永遠の命が与えられるのです。

あれ、イエス様の十字架を信じたら永遠の命をいただけるのでは？ もちろんそう。でも、信じたからもういいや、と神様を無視して生きていったら、永遠の命をすてるようなものです。せっかくイエス様に救われた命なのだから、神様のために生きていきませんか。

祈り

天のお父様、自分のためだけに生きるのではなく、あなたのために生きていけますように。

2月14日（金）

聖書
聖句

ヨハネ 12・27～28

しかし、わたしはこのために、この時に至ったのです。 27節

これから十字架に向かっているイエス様…、どんなお気持ちだったでしょう。それは、「わたしをお救いください」と神様にお祈りするほどつらかったのです…。しかし、つらくても「わたしは十字架にかかるために、ここまできたのです」と言われたのでした。

イエス様は逃げたりなさいませんでした。さいごまで神様に従われたのです。イエス様がみこころに従って、つらく苦しい十字架にかかってくださったから、わたしたちは永遠の命をいただくことができるのです。

祈り

天のお父様、イエス様はわたしのために神様のみに従われました。わたしも神様のみに従う人になることができますように。

2月15日（土）

聖書
聖句

ヨハネ 12・20～28

一粒の麦が地に落ちて死ななければ、それはただ一粒のままである。しかし、もし死んだなら、豊かに実を結ぶようになる。 24節

イエス様は一粒の麦となって、十字架にかかって死んでくださいました。それがイエス様の使命だったからです。

あなたにも、神様から与えられている使命があります。それは誰かにやさしくしてあげることかもしれないし、助けてあげることかもしれません。そのほかに、どんな使命があるかな？ 自分のために生きるのはもうおしまい。イエス様のように神様と人のために生きることができたら、あなたもりっぱな一粒の麦！

祈り

天のお父様、わたしの使命を教えてください。わたしが一粒の麦として生きていきますように。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨハネ 13・1～15

洗足の恵み

もしわたしがあなたの足を洗わないなら、あなたはわたしとなんの係わりもなくなる。

ヨハネ 13・8

目標

キリストの十字架の血による罪の赦しの恵みに生きる者となる。

2月16日（日）

聖書
聖句

ヨハネ 13・1

世にいる自分の者たちを愛して、彼らを最後まで愛し通された。 1節

イエス様が十字架にかかる前の日。その日の夜、イエス様と弟子たちは、過越の祭りのお食事会をすることになっていました。イエス様は、特別な気持ちでお食事会に行かれました。なぜなら、明日、ご自分が十字架にかかることをわかっておられたからです。これが弟子たちとの最後の過越のお食事です…。

弟子たちとの時間は、もうわずか。そんなイエス様が最後までされたことは、「弟子たちを愛しとおす」こと。やさしい目で、弟子たちを見つめておられます。今週は、イエス様のふかい愛を学びましょう。

いの祈り

天のお父様、イエス様は愛のお方です。弟子たちにあらわされた、ふかい愛を教えてください。

2月17日（月）

聖書
聖句

ヨハネ 13・1～5

弟子たちの足を洗い、腰に巻いた手ぬぐいでふき始められた。 5節

この時代、家にはいるときは、しもべが上着をぬいで、家に入る人たちの足を洗ったんです。弟子たちが食事のために家に入ると、なんと、イエス様が上着をぬいで、水をくんで、弟子たちの足を洗い始められたのです。弟子たちはびっくり！ イエス様はしずかに弟子たちの足を水でジャブジャブ、手ぬぐいでふきふき。

弟子たちの中には、イエス様を裏切ろうとしていたイスカリオテのユダもいましたが、イエス様はユダの足も洗われました。相手が自分に悪いことをするとわかっていても愛して、心をこめて足を洗われたのです。

いの祈り

天のお父様、わたしにたいして悪いことをする人も愛せるようにしてください。

2月18日（火）

聖書
聖句

ヨハネ 13・1～6

「主よ、あなたがわたしの足をお洗いになるのですか」と言った。 6節

イエス様が、まるでしもべのように、汚れた足を洗うなんて…！ 実は、弟子たちは、「弟子の中で、誰がいちばんえらいか？」と話をしていたところでした。誰かの足を洗うなんて絶対したくありません。そんな時、いちばんえらいはずのイエス様が、ご自分からしもべのしごとをし始めたのですから、もうびっくりです。ペテロの番になったとき、彼は思わず「イエス様がわたしの足を洗うのですか…？」と言ってしまいました。

ほかの人たちよりえらくなりたい、と思っていた弟子たち。イエス様のお姿を見て、ものすごいショックをうけたのです。

いの祈り

天のお父様、えらくなりたいという思いから、わたしを守ってください。

2月19日（水）



ヨハネ 13・6～8

もしわたしがあなたの足を洗わな
いなら、あなたはわたしとなんの係
わりもなくなる。 8節

イエス様はペテロに言われました、「わたし
がしていることは、あとでわかるようになりますよ」。意味がわからないペテロは、「イエス様、
わたしの足を洗わないでください！」と言いま
した。イエス様に洗っていただくなんて、とん
でもない！と思ったのです。するとイエス様
は、「洗わなかったら、あなたはわたしとなん
の関係もなくなります」。えっ、それはいやだ！
イエス様が言われたことには、たとえ意味がわ
からなくても「はい！わかりました！」とお
返しすることが大切です。ちゃんと理由がある
んですから。

いの
祈り

天のお父様、イエス様のことばに、いつ
も、すなおにお返事できますように。

2月20日（木）



ヨハネ 13・9～11

すでにからだを洗った者は、足の
ほかは洗う必要がない。全身がきれ
いなから。 10節

イエス様と関係がなくなっちゃう?! あわて
たペテロは、すかさず「じゃあ、手も頭も洗っ
てください！」と言いました。するとイエス様
は、「土だらけの足以外は洗う必要がないです
よ」と言われました。

弟子たちの土だらけの足のよう、わたした
ちの心は、罪のゆうわくでいちばん汚れやす
いところ。イエス様を信じて心をきれい
にされたわたしたちですが、毎日、心が汚れ
ていないかイエス様にチェックしてもらって、
洗っていただく必要があるのです。

いの
祈り

天のお父様、イエス様をとおして、罪で
汚れやすいわたしの心を、毎日洗って
ください。

2月21日（金）



ヨハネ 13・12～14

あなたがたもまた、互に足を洗い合
うべきである。 14節

弟子たちの足を洗い終わったイエス様は、こ
う言われました、「わたしがあなたがたの足を
洗ったのだから、あなたがたも足を洗い合うべ
きです」。

えらくなりたい、と思うのではなく、しもべ
のように、お互いに仕え合いなさい、と言われ
たのです。イエス様はご自分を裏切ろうとして
いるユダの足まで洗われましたよね。「あの
人はイヤ！」と思うのではなく、どんな人も愛し
て、ゆるすこと。どんな人にも心をこめて仕え
ることを、イエス様は教えられたのです。

いの
祈り

天のお父様、どんな人も愛し、ゆるし、
仕えることができるように助けてくだ
さい。

2月22日（土）



ヨハネ 13・1～15

わたしがあなたがたにしたとおり
に、あなたがたもするように、わた
しは手本を示したのだ。 15節

イエス様が弟子たちの足を洗われたのは、
弟子たちに愛のお手本を見せるためでした。イ
エス様はこのあと、すべての人の罪のみがわり
に十字架にかかれます。神様に愛され、ゆる
していただいた者として、わたしたちは心か
ら愛し合い、仕え合うのです。

神様が本当によろこんでくださる人は、えら
い人ではありません。イエス様のように、愛す
る人、仕える人をよろこばれるのです。さあ、
イエス様のお手本にならって、神様によろこば
れる歩みをしていきましょう！

いの
祈り

天のお父様、あなたに愛され、ゆるされ
た者として、イエス様にならって歩ん
でいきますように守ってください。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨハネ 14・1～6

道なるキリスト

わたしは道であり、真理であり、命である。ヨハネ 14・6

目標

天国への道であるキリストを信じる。

2月23日（日）

聖書
聖句

ヨハネ 14・6

わたしは道であり、真理であり、命である。6節

道をまちがえて、ぜんぜん知らないところに
ついちゃったこと、ありませんか？ とちゅう
まで合っていたはずなのにおかしいな？ ひと
つまがただでぜんぜんちがうんだね！

「道路」なら、またもとにもどればやり直せ
るけど、「天国へ行く道」はまちがえたままで
いるともどれなくなるんだ。

あなたも、人生の道を歩きはじめているけど、
どんな道を歩いていますか？

イエス様は、ご自分が「道」だと言われたよ。
そう、天国へ行くなら、イエス様を信じて心
におむかえするほかないってことだね。

祈り

天のお父様、イエス様を心から信じて、
天国の道を歩いていきます。

2月24日（月）

聖書
聖句

ヨハネ 14・1

あなたがたは、心を騒がせないが
よい。神を信じ、またわたしを信じ
なさい。1節

しっばいするかもしれない、たいせつな人を
傷つけるかもしれない、ひとりぼっちになるか
もしれない、たよるものがなくなっちゃうかも
もしれない…。そんな気持ち、お弟子さんだけ
じゃなく、あなたにもあるんじゃない？

不安でいっぱいのお気持ちを解決する方法、わ
たしたちはすぐにわすれてしまうけど、そうか、
イエス様が言われたことを思い出さなきゃい
けないね。わたしにはいつもイエス様がいつ
しよにいてくださるんだね！ 神様が見てい
てくださるんだね！

祈り

天のお父様、いつもかわらずわたしと
いっしょにいて、守ってください、あり
がとうございます。

2月25日（火）

聖書
聖句

ヨハネ 14・2

わたしの父の家には、すまいがたく
さんある。2節

今、どこにいても、なんだか「居場所」がな
いと感じる人が、とてもたくさんいるみたい。
つらいことや悲しいこと、問題が多すぎて
心や体がつかれちゃうんだね。

イエス様は、悲しみのなみだも、心の傷も
ない、みんなが安心して「ああ、ここがわたし
の居場所だ」と言えるところを用意してくだ
さったお方。それも「たくさん」！

だから、どんなことがあっても「わたしにも
天に居場所がある」と思うと、希望がもてるん
だね。安心できるんだね。

祈り

天のお父様、イエス様が、わたしのた
めにも、天に「居場所」を用意してくださ
ったことを、ありがとうございます。

2月26日（水）



ヨハネ 14・3

わたしのおる所^{ところ}にあなたがたもお
らせるためである。 3節

イエス様のやくそくは、わたしたちが思うよ
りもずっとずっと大きいって知ってる？

イエス様を信じる人の心の中に、イエス様
がいてくださることは知っているけど、それで
おわりじゃないんだって。

やがて、本当にイエス様といっしょに、それ
も永遠にイエス様といっしょにいる日がくる
んだって！

神様の子どもになるってすごいことだね！

もっとたくさんの人と、この永遠のよろこび
を分けあっていきたいね！ たいせつな人のた
めにお祈りしていきたいね！

いの
祈り

天のお父様、イエス様のところで、たく
さんの人といっしょにすごせるように、
お祈りしていきます。

2月27日（木）



ヨハネ 14・4

わたしがどこへ行くのか、その道^{みち}は
あなたがたにわかっている 4節

イエス様は、わたしたちが天国へ行くために、
たったひとりで「道」を行かれました。

むちをうたれ、つばをはきかけられ、苦しめ
られて、とうとう十字架で血を流して死ぬとい
う「道」、それは、わたしたちが罪のためにう
けなければいけなかった罰を、代わりにうけて
くださる、という「道」でした。

イエス様を信じる人は、「十字架の道」、「罪
の罰の道」を歩かなくてもいいんだね、もうイ
エス様によって罰は終わっているんだね。イエ
ス様が、天国へのかけはしになってくださった
んだね。イエス様、ありがとう！

いの
祈り

天のお父様、イエス様が歩いてくださ
った道によって、天国への道がひらかれて
いることを感謝します。

2月28日（金）



ヨハネ 14・5

主よ、どこへおいでになるのか、わ
たしたちにはわかりません。どうし
てその道^{みち}がわかるでしょう 5節

「わからない！ 見なきゃ信じない！」なん
でも自分でたしかめないと気がすまない性格
のトマスさんタイプの人、いっぱいいるよね？

聞いただけで信じられるほど、人はすなお
じゃないよね。だからこそ、イエス様はトマス
にもしんけんに向き合って、どういうことなの
か頭^{あたま}だけでなく、心からわかるようにしてく
ださったのです。

イエス様は、あなたにちゃんと向き合ってく
ださるお方^{かた}。だからあなたも、イエス様にちゃ
んと向き合うひつようがあるんだね！

いの
祈り

天のお父様、心からイエス様をわかる
ように、わたしもちゃんと向き合いま
す！

2月29日（土）



ヨハネ 14・6

だれでもわたしによらないでは、父
のみもとに行くことはできない。 6節

だれもがみんな、天国に行きたいと思うはず。
でも、多くの人は、天国行きの道を見つけよう
とも、歩こうともしないんだね。

天国行きの道を歩いている、と思っっている人
も、「そうじゃないよ」「それってどうなの？」
と思うような道を歩いていることもあるよね。
人生の「道」でまようとき、こまったとき、
どうしたらいい？

それは、聖書になんて書いてあるか、イエス
様がどう歩いたか、イエス様ならどうするかを
見つけることだね！ イエス様という道（生き
方）の上を歩いていくことだね！

いの
祈り

天のお父様、イエス様の道を、まっすぐ
歩ませてください。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨハネ 14・12～17

別の助け主

父は別に助け主を送って、いつまでもあなたがたと共におらせて下さるであろう。

ヨハネ 14・16

目標

キリストが送ってくださる助け主、聖霊を覚えて生きる。

3月1日（日）

聖書
聖句

ヨハネ 14・12

わたしを信じる者は、またわたしのしているわざをするであろう。

12節

イエス様は、「わたしを信じる者は、…わたしのしているわざをするであろう」と言われました。イエス様のしているわざってなに？ させきを行われたり、病気をなおされたり…。でも、いちばん大切なわざは、神様のことを宣べ伝えることでした。

イエス様は、神様を伝える使命をわたしたちに託されたのです。さらに、イエス様みたいに神様を伝えるようになるんです。イエス様のよう、おそれず、力づよく、ただしく神様を伝えられたら…、これはすごいことです。

いの祈り

天のお父様、わたしがイエス様のよう、神様を伝える人になれたら、すばらしいです。そうなりたいです！

3月2日（月）

聖書
聖句

ヨハネ 14・12

そればかりか、もっと大きいわざをするであろう。わたしが父のみもとに行くからである。

12節

イエス様のよう、神様を宣べ伝えるようになるばかりか、もっと大きいわざをするようになる…、そんなすごいことあるの？

イエス様は、いつも神様のことを伝えておりましたが、イエス様の身体はひとつだけ。神様のお話を聞けるのはイエス様のそばにいる人だけ。でも、イエス様が天に帰られたら、弟子たちや、わたしたちが、世界中に神様のことを伝えにいくのです。イエス様がお話されたときより、多くの人が神様のことを信じるようになるというわけ。これもすごいこと！

いの祈り

天のお父様、わたしがイエス様よりすごいわざをするなんて、びっくりです。たくさんの人に神様をつたえられますように。

3月3日（火）

聖書
聖句

ヨハネ 14・13～14

わたしの名によって願うことは、なんでもかなえてあげよう。

13節

わたしたちはお祈りするとき、いつも「イエス様のお名前によってお祈りします」とお祈りしますね。イエス様の名によって願うことは、なんでもかなえていただける。これも、ほんとうにすごいお約束ですね！

でも、「なんでも」というのは、わがままな願いもぜんぶ！ ということではありません。「神様のことを伝えるために、ひとつようなことはなんでも」、神様のみにこころにかなうことはなんでもです。神様を伝えるために、ひとつようなこと、こまっていること、もっと祈りませんか？ かならず応えられるから！

いの祈り

天のお父様、あなたをお伝えするために、わたしにひとつようなものをあたえてください！

3月4日（水）



ヨハネ 14・13～14

父が子によって栄光をお受けになるためである。 13節

イエス様が「なんでも」祈りをきいてくださるのには、理由があります。それは、父なる神様が栄光をお受けになるため。父なる神様が世界中に伝わって、「神様ってなんてすばらしいんだろう！」と、人々が神様をほめたたえるためです。イエス様がいちばんに願っておられることは、父なる神様のすばらしさを、世界中の人々にしってもらうことなのです。

もし、「あなたが信じている神様は、すごいね」と言われたら…なんだかうれしくならない？ だって、わたしたちは、父なる神様が栄光を受けるために生きているんだから！

いの祈り 天のお父様、イエス様のように、わたしはあなたが栄光をお受けになるために生きていきます。

3月5日（木）



ヨハネ 14・15

もしあなたがたがわたしを愛するならば、わたしのいましめを守るべきである。 15節

あなたは、イエス様を愛していますか？ 愛されていることは知っているけど、自分は愛しているかしら…。イエス様を愛していることを、はっきりあらわす方法があるんです。それは、イエスのいましめをまもって、従うこと。それが、イエス様を愛している、いちばんの証拠。

イエス様のいましめは、わたしたちが互いに愛しあうことです(13章 34～35節を読もう)。互いに愛しあうことは、イエス様を愛していることと、同じなのです。

いの祈り 天のお父様、イエス様を心から愛します。イエス様のいましめをまもって、互いに愛しあえるように助けてください。

3月6日（金）



ヨハネ 14・16～17

わたしは父にお願いしよう。そうすれば、父は別に助け主を送って、いつまでもあなたがたと共におらせて下さるであろう。 16節

イエス様は、これから十字架にかかれ、よみがえられ、天に帰られます。つまり、イエス様は弟子たちのそばにいらなくなるのです。弟子たちはもう、不安しかない…。

そこで、イエス様は約束をされました。イエス様の別に、助け主をおくってくださるように、父なる神様をお願いしよう、って！ …べつ？ その助け主とは、聖霊なる神様のこと。霊なる神様なので、どんなときも、いつまでも、わたしたちと共にいてくださるんです。

いの祈り 天のお父様、助け主である聖霊が、いつまでもわたしと共にいてくださり、不安からまもってください感謝します。

3月7日（土）



ヨハネ 14・12～17

それは真理の御霊である。 17節

「真理」といえば、先週の御言葉、14章6節ですよね！ 真理とは、まさにイエス様のこと。聖霊は、イエス様とひとつです。聖霊をとおして、イエス様はいつもわたしたちと共にいてくださるのです。聖霊は、イエス様の御言葉を思いださせて教えてくれたり、イエス様がどんなお方か教えてくれたり…。聖霊がイエス様のことをなんでも教えてくれるのです！

これまで、聖霊なる神様がよくわからなかったという人、イエス様をもっと知るためには聖霊の助けがぜったいひつようだとおぼえましょう。助け主なる聖霊と共に生きよう！

いの祈り 天のお父様、聖霊と共にあゆませてください。聖霊をとおして、もっとイエス様のことを教えてください。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨハネ 14・27～31
キリストにある平安
わたしは平安をあなたがたに残して行く。わたしの平安をあなたがたに与える。ヨハネ 14・27
どんな状況の中にもキリストからの平安を持って生きる。

目標

3月8日(日)

聖書
聖句

ヨハネ 14・27

わたしは平安をあなたがたに残して行く。わたしの平安をあなたがたに与える。 27節

平安ってわかる？ 心がざわざわさわいだり不安でないこと。安心や無事なことだね。

イエス様がこのことを言ったのは、十字架につく前の晩のことでした。もし人が、自分が次の日に死ぬとわかっていたら、平安なんてどこに行っちゃって大さわぎするだろうに…。

でも、イエス様はご自分のことではなく、残されていく弟子たちのことを考えていたのです。不安に負け、つまずき、倒れてしまう、そんな人への愛のことばだったんだね。

イエス様もまた、神様に 100%信頼していたので、こんな中でも平安だったんだね。

祈り

天のお父様、イエス様のような平安を持つ者としてください。

3月9日(月)

聖書
聖句

ヨハネ 14・27

わたしは平安をあなたがたに残して行く。 27節

人は心のどこかで「死はこわい」と思いながら生きているんだ。死はすべての終わりで、絶望だと、思っているのかもしれないね。

イエス様は、永遠の命と天国の希望を与えるために、人が罪のために永遠に滅びる者とならないために、十字架にかかってくださったね。

人のかかえる苦しみとイエス様の平安が逆転して、イエス様が苦しんでわたしたちに平安が来た、それが十字架なんだね！

罪から解放されて、神様の大きな愛を知って、神様にたよって生きていってほしい、イエス様はそう願っておられるんだね。

祈り

天のお父様、わたしが平安をもらうためにイエス様が苦しまれたことをおぼえ、感謝します。

3月10日(火)

聖書
聖句

ヨハネ 14・27

わたしが与えるのは、世が与えるようなものとは異なる。 27節

あなたは、どんなとき不安になりますか？それをどうやって解決してきましたか？

この世が与える平安というのは、お金があれば安心だ、健康があれば安心だ、勉強やスポーツができるから安心だ、有名だから安心だ、なにか持っているから安心だと思わせるものことです。

でも、そういう人たちもけっきょく、貧乏になったら、病気になったら、失敗やけがをしたら、だれも見えてくれなくなったらどうしよう、といつも不安をかかえていて、そうならないように必死になっているのです。

それでは平安にはなれないのです。

祈り

天のお父様、この世ではなく、あなたからの平安で心を満たしてください。

3月11日（水）



ヨハネ 14・28

もしわたしを愛しているなら、わたしが父のもとに行くのを喜んでくれるであろう。 28節

大好きな人がどこかに行っちゃうなんて、ぜったいいや！ と、きっとだれもが思うよね。お弟子さんも自分たちのことしか考えられず、そんな気持ちだったんだろうね。

でもね、イエス様にとっては、天の神様のそばにいるのがいちばんしあわせなことだよ。

イエス様は、人を愛して、人に命まで与えるために来てくださいました。わたしたちが言う「愛」はにぎりしめて手ばなさない愛だけど、イエス様は手ばなして与えるばかりの愛だね。

愛するだれかのためににぎりしめているものを手ばなすことも、学んでいきたいね。

祈り 天のお父様、イエス様のような愛を、わたしも持つことができますように。

3月12日（木）



ヨハネ 14・29

今わたしは、そのことが起こらない先にあなたがたに語った。それは、ことが起こった時にあなたがたが信じるためである。 29節

イエス様が十字架にかかること、よみがえること、天に昇ること、聖霊を送ってくださること…聖書を読んでいるわたしたちとちがって、イエス様の時代に生きたお弟子さんは、この先なにが起きるのか、イエス様は何者なのか、はっきりとわからないこともあっただろうね。

先のことを信じることはむずかしいね。でも、イエス様の言ったこと、聖書に書いてあるすべてのことは起きてきた！ 神様の言葉はかならず起きるんだね！ これから先のことも、あなたは信じますか？

祈り 天のお父様、聖書に書いてあることはすべて起きると、信じます。

3月13日（金）



ヨハネ 14・30～31

この世の君が来るからである。だが、彼はわたしに対して、なんの力もない。 30節

イエス様の十字架を「やっぱりなにもできない負け犬だ」と言う人がいます。罪がある人は心の目がくもっているので、十字架の意味を理解できないのです。そして、そう思わせるのは悪魔の計算なのです。

でも、イエス様は悪魔に負けたから十字架にかかったのではありませんね。神様のご計画を知れば知るほど、イエス様の歩みを見れば見るほど、ああ、やっぱりイエス様は神様のみに心に従いぬいて十字架にかかられたんだ、とわかるのです。悪魔はなんの力もない！ のです。

祈り 天のお父様、あなたに従うとき、悪魔に勝利はないことを知ることができ、感謝します。

3月14日（土）



ヨハネ 14・31

立て。さあ、ここから出かけて行こう。 31節

自分が傷ついたり失敗するのがこわい、と一歩も前にでられないこと、ないかな？

イエス様は、きびしく苦しい十字架が待つところへ「さあ！ 行こう！」と言って進まれたね。そこが傷つけられ、裏切られ、拒まれ、ばかにされることばかりの場所だったとしても。

神様が進みなさいと言われたところへ、まっすぐ進んで行ったイエス様から目をはなさないでいるなら、不安でも、こわくても、きっと、前に進んで行けるよね！ 神様が見ていて、守り、助けてくださるって知ってるから！

さあ、ここから出かけて行こう！

祈り 天のお父様、わたしも、あなたの与えてくださった道に向かって、いっぱい歩みます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨハネ 15・1～8
ぶどうの木なるキリスト
わたしはぶどうの木、あなたが
たはその枝である。ヨハネ 15・5

目標

キリストにつながり、実を結ぶ
者となる。

3月15日（日）

聖書
聖句

ヨハネ 15・5

わたしはぶどうの木、あなたがたは
その枝である。5節

「木はその実を見て知る」という言葉があり
ます。ぶどうの実にはぶどうの木から、というく
らいならわかるよね。でも、もんだいなのは、
その実が「おいしいか、まずいか」だね。良い
木からしか、良い実はないってことだね。

じつは人にも「実」があつて、その実がどん
なものか、神様は見ておられるんだって。つま
り、あなたがいつもしている行いや思いや考
え方が、そっくりそのまま「あなた」という「実」
なのです。

聖書の中から「自分の実はどうだろうか？」
とを考えてみてください。

いの
祈り

天のお父様、自分の実から、自分がどう
いう姿であるか知らせてください。

3月16日（月）

聖書
聖句

ヨハネ 15・1～2

実を結ぶものは、もっと豊かに実ら
せるために、手入れしてこれをきれ
いになさるのである。2節

実のなる植物を育てるとき、どの枝ものば
して、なるべくたくさん実がなれば、と思うよ
ね？ でも、そうすると一つ一つの実に栄養が
いかず、おいしくなくなっちゃうんだ。だから、
もったいなくても、たくさんのお枝をおとすんだ
よ。そうすると、実にたくさんの栄養があつ
まって、やがて良い、おいしい実になるよ。

神様は、「良い実」になるよう、あなたにも
毎日かかさず手入れなさるお方です。バサッと
枝を切られると「痛い」はずだけど、そうしな
がら成長していくんだね。

いの
祈り

天のお父様、わたしが良い実をつけるた
めに、手入れしてくださっていることを
感謝します。

3月17日（火）

聖書
聖句

ヨハネ 15・3

あなたがたは、わたしが語った言葉
によって既にきよくされている。3節

イエス様の言葉を、「信じます」と心から受
け入れた人たちに、イエス様は「もうきよい」
と言ってくれるお方です。

「ほんとうにわたしは救われたの？ 赦され
ていないんじゃないの？ 天国にいけないん
じゃないの？」と不安になっちゃうのは、わた
したちの弱さだね。

イエス様を信じたのに、罪が赦されなかつ
た、ってことはありえないってことだね。

あなたもイエス様の言葉によって、きよく
されました。これを 100 % 信じますか？

いの
祈り

天のお父様、イエス様によって、罪が赦
され、もうきよくされたことを 100 %
信じます。

3月18日（水）

聖書
聖句

ヨハネ 15・4～6

あなたがたもわたしにつながって
いなければ実を結ぶことができない。
4節

どんなに元気な枝でも、パチンと切り落とされたら枯れてしまうよね。それと同じで、せっかくイエス様を信じて新しい命をもらっても、イエス様につながりつづけていなければ、切り落とされた枝のようになっちゃうんだね。人の心の中に、イエス様のように人と神様とを愛する愛はないよね。よ～し！ 今日こそ！ とひとりでがんばっても、あつというまにしっぱいしちゃうね。「愛の実」を実らせるのってむずかしい！ イエス様も、そんなわたしたちのことをよく知っておられるんだね。

祈り

天のお父様、イエス様につながって、「愛の実」を結ぶことができますように。

3月19日（木）

聖書
聖句

ヨハネ 15・5

わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。
5節

「あなたの行いや思いや考え方が、そっくりそのままあなたという実」だと前に言ったけど、イエス様という木につながったあなたは、ぶどうの木からぶどうの実がなるように「イエス様の実」をつけるはず、ということだね。

枝が幹から栄養をたくさんもらって良い実をつけるように、イエス様から毎日たくさんの栄養（愛やみことば）をもらってください。

人を愛せないとき、赦せないときほど、イエス様がどう言われ、何をしてくださったか思いだしてください。とことん、イエス様にしがってみてください！

祈り

天のお父様、イエス様が言われたこと、なさったことを行えるよう、イエス様の愛で心をいっぱいにしてください。

3月20日（金）

聖書
聖句

ヨハネ 15・7

わたしの言葉があなたがたにとどまっているならば、なんでも望むものを求めるがよい。
7節

世の中には、「わたしこそ木だよ」「わたしにつながればまちがいないよ！」というものがたくさんあります。「お金の木」「勉強の木」「恋の木」…あげればきりがありません。でも、それらの「木」につながっても、ざんねん、人生が終わればなくなるし、心はどんどん自分勝手に、わがままで、疲れてしまうんじゃないかな。

たいせつなのは、まず、イエス様につながるということ、イエス様にしがうということ。

そうすれば、あなたの人生で必要なものはかならず与えられるからね！ だいじょうぶ！

祈り

天のお父様、なによりもまず、イエス様につながる枝でいられますように！

3月21日（土）

聖書
聖句

ヨハネ 15・8

わたしの弟子となるならば、それによって、わたしの父は栄光をお受けになるであろう。
8節

世界にすばらしいものはたくさんあるけど、いちばんほめられ、尊敬されるはずの神様をほめている人はどれくらいいるだろう？

じつは神様が栄光をうけるって、そういうことだよ。神様を信じているあなたが、イエス様のような「愛」の人になったのを見て、まわりの人もあなたも、「神様ってすばらしい！」とほめるようになることが必要なんだね！

「神様がわたしをこんなふうに変えてくれた！ 成長させてくれた！」ということを感じながら、毎日すごしていけますように！

祈り

天のお父様、あなたのすばらしさが、たくさんの人にわかるように、わたしを成長させてください。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨハネ 15・12～17

最大の愛

人がその友のために自分の命を捨てること、これよりも大きな愛はない。

ヨハネ 15・13

十字架に示されたキリストの愛を知り、愛に生きる者となる。

目標

3月22日（日）

聖書
聖句

ヨハネ 15・13

人がその友のために自分の命を捨てること、これよりも大きな愛はない。 13節

イエス様がわたしたちのために命を捨てることは、人間が「好きな人のために死んでもいい」というのとはちがうこと、わかるかな？

罪のために永遠の滅びしか道がなかった、罪とは神様の前にそれほどに大きいのです。

イエス様は、人が永遠に滅びるのではなく、永遠に生きる者となるために、天国の道を開くために、十字架で命をすててくださいました。

罪のない、きよい、神のひとり子が、罪深い、けがれた、どうしようもないわたしのために死なれた。ここに神様からのとくべつで、もっとも大きい愛があるのです。

祈り

天のお父様、イエス様の愛の大きさをおぼえて感謝します。

3月23日（月）

聖書
聖句

ヨハネ 15・12

わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互に愛し合いなさい。 12節

教会や学校、おうちでも、好きな人となかよくしたり、優しくするならできるよね。でも、ケンカしたときや意見がちがったときはどうだろう？ そんなのムリ！ って思うよね。

イエス様のお弟子さんたちも、なかまだったけど、よく意見がちがったり、だれが一番かなんて言いあらそったりしたんだよ。

そんなお弟子さんも、あなたも、イエス様が命がけでくださった十字架の愛が必要だね。

それは、人をゆるすこと、自分でなく人のためや、人の救いを思い祈ること、弱いお互いを受けいれあっていくことじゃないかな。

祈り

天のお父様、イエス様の十字架の愛を思い、行う者としてください。

3月24日（火）

聖書
聖句

ヨハネ 15・14

あなたがたにわたしが命じることを行うならば、あなたがたはわたしの友である。 14節

自分にいやなことをする人に「気分悪いけどゆるしてやる！」「もうわたしにはかかわらないで！」など、人をゆるすときのあなたの態度はどうでしょうか？

イエス様は、十字架につくとき、弟子たちがうらざり、にげていくことを知っていました。それでも、「あなたはわたしの友」と言ったね。イエス様の愛はすごいね。

あなたがイエス様の愛を知って、その愛に包まれて生きるとき、人を赦せる愛を行うことができるようになるよ。そこにイエス様は、あなたの友としていっしょにおられるからね！

祈り

天のお父様、イエス様の愛に包まれて生きていけますように。

3月25日（水）



ヨハネ 15・15

わたしはもう、あなたがたを僕とは呼ばない。 15節

世の中にはいろんな友だち関係があるよね。そんな中で、本当の友ってなんなんだろう？ としんけんに悩んでしまうこともあるよね。

イエス様はあなたにとって、救い主であり、神の子だけど、わたしたちの世界に人となってきてくださり、あなたを愛してくれたね。

弱い者、罪のある者、救いが必要な者のところに来て、視線を合わせ、同じ立場になる、どちらかが強くどちらかが弱いではなく対等な関係になる。いっしょに成長しよう！ と手をとってくれる。それが友のすがただね。

あなたもだれかとそんな友になってね！

いの祈り

天のお父様、イエス様が視線をあわせてくださったように、わたしもだれかの友となることができるよう。

3月26日（木）



ヨハネ 15・15

わたしの父から聞いたことを皆、あなたがたに知らせたからである。 15節

親友といえる友だち、また大切にしたいと思いう友だちはいますか？

あなたになにが起きてもすてない友だち、なんでもうちあけられる友だち、かくしごとがない友だちなら、まさにベストフレンドだね！

イエス様はあなたに対して「かくしごとはないよ」と言ってくださっているね。それはあなたのベストフレンドでいたいという、イエス様のこころです。あなたはどうかえますか？ イエス様に心を開いていますか？

あなたもまた、イエス様のベストフレンドでいてくださいね。

いの祈り

天のお父様、親友イエス様を、わたしも大切に生きていきます。

3月27日（金）



ヨハネ 15・16～17

わたしがあなたがたを選んだ…あなたがたが行って実をむすび、その実がいつまでも残るため… 16節

「おいしい実とおいしくない実、どっちがいい？」と聞くとおいしいのいいに決まっているよね。農家さんも良い実の種だけを残してどんどん実のおいしいものを作っているのです。

さて、この質問は「自分勝手な人と、愛のある人どっちがいいですか」というのと同じです。

イエス様に、実を残すようにえらばれたあなた、あなたが残すのは愛の実であってほしい、とイエス様は言っておられますよ。

あなたの行くところどこでも、イエス様の愛を行えますように！

いの祈り

天のお父様、イエス様の愛を、小さなわたしも行っていけますように。

3月28日（土）



ヨハネ 15・16～17

あなたがたがわたしの名によって父に求めるものはなんでも、父が与えて下さるためである。 16節

生きていくことがつらいと思っている人、なんで自分だけ…と心のどこかで感じること、あるかな？ そう感じている人は多いんだ。

そんな人には、天のお父さんがわたしたちを愛して、永遠の命をあたえようとイエス様の命までおしまずにあたえてくださったお方だということ、神様の声に従う人には、正しい生き方を教え、心に喜びをくださることを知ってほしいなと思うんだ。

イエス様を信じた瞬間から、もう天国はわたしのもの！ と言えるなんて、すべて与えられているのと同じじゃない？

いの祈り

天のお父様、わたしの必要はすべて与えられていると信じます。



聖書
テーマ
暗唱聖句

ヨハネ 16・19～24
キリストの名による祈り
あなたがたが父に求めるものは
なんでも、わたしの名によって下
さるであろう。 ヨハネ 16・23

目標

キリストの名による祈りの力
を覚え、喜びをもって生きる。

3月29日（日）

聖書
聖句

ヨハネ 16・16～19
イエスは、彼らが尋ねたがっている
ことに気がついて、彼らに言われた、
19節

イエス様が十字架にかかれる前夜。イエス様は「しばらくすればわたしを見なくなる、またしばらくすれば、わたしに会える」と言われました。これは、イエス様が十字架にかかれて、弟子たちはいったん会えなくなるけど、イエス様はよみがえられるのでまた会える、ということ。でも、弟子たちはその意味がわからなくて、とても不安でした。

イエス様は弟子たちの不安にきづいてくだ
さいました。今週は、心の不安が喜びにかわ
る、そんな御言葉を読んでいきます！

いの
祈り

天のお父様、わたしの心の不安を喜びに
かえてくださる御言葉を、きたいして読んで
いきます。

3月30日（月）

聖書
聖句

ヨハネ 16・20
あなたがたは泣き悲しむが、この世
は喜ぶであろう。あなたがたは憂え
ているが、その憂いは喜びに変わるで
あろう。 20節

イエス様が十字架にかかれ、いなくなっ
てしまふ。弟子たちがこれまで経験したこと
のない、悲しみにつつまれることをイエス様はわ
かっていました。それで、あらかじめ大きな悲
しみがあることを伝えられたのです。

しかし！ それでおわらないのがイエス様で
す。悲しみが、かならず喜びにかわる、と約束
してくださいました！ 悲しみや試練だけでお
わらない。そのあと、かならず喜びをあたえ
てくださる。それがイエス様です。

いの
祈り

天のお父様、イエス様は、悲しみや試練が
あっても、かならず喜びをくださること
信じます。

3月31日（火）

聖書
聖句

ヨハネ 16・21～22
しかし、子を産んでしまえば、もは
やその苦しみをおぼえてはいない。
ひとりの人がこの世に生れた、とい
う喜びがあるためである。 21節

女性が赤ちゃんを産むときというのは、そ
れはもう、たいへんな苦しみです。でも、生ま
れると、苦しかったことより生まれたことの
ほうがうれしくて、涙と喜びでいっぱい！

イエス様がくださる喜びは、それとおなじ。
弟子たちは、イエス様がいなくなる悲しみを
経験するけれど、そのあとイエス様はよみが
えられるのです！ 復活のイエス様と会うと
きの喜びは、悲しみをおぼえていないほどだ
よ、って！

いの
祈り

天のお父様、わたしが悲しみをわすれてし
まうほどの喜びをくださるなんて、イエ
ス様の愛に感謝でいっぱいです。

4月1日(水)



ヨハネ 16・22

あなたがたの心は喜びに満たされるであろう。その喜びをあなたがたから取り去る者はいない。 22節

わたしは再びあなたがたと会う！ とイエス様は、弟子たちに宣言してくださいました。しかも、その喜びは、誰もうばうことができない、いつまでもなくなるらない喜びなんだって。

あなたは、どんなことで喜びますか。それは、いつまでもなくなるらない喜び？ 目に見える喜びは、いつかはなくなっていくもの。でも、復活のイエス様は、いつまでも、永遠にわたしたちといっしょにいてくださいます。誰もわたしたちから、イエス様をうばうことはできない。これがいちばんの喜びだと思いませんか？

いの

祈り 天のお父様、イエス様がいつまでもわたしと共にいてくださることが、いちばんの喜びだと気づきました。感謝です！

4月2日(木)



ヨハネ 16・23

あなたがたが父に求めるものはなんでも、わたしの名によって下さるであろう。 23節

イエス様は、イエス様が復活されたあとのことまで話してくださいました。弟子たちは喜びでいっぱいにみたされるので、不安になってイエス様に質問したり、願いもとめることはなくなるんですって。さらに、これからはイエス様にではなく、イエス様の名によって、ちよくせつ父なる神様に祈ってもとめるようになる、と言われたのです。

本当は、わたしたちはちよくせつ神様に祈るなんてできない罪人。でも、イエス様の名によって、祈ることがゆるされたのです！

いの

祈り 天のお父様、お祈りが恵みだとわかりました。イエス様の名によって、わたしが祈りできることを心から感謝します！

4月3日(金)



ヨハネ 16・24

今までは、あなたがたはわたしの名によって求めたことはなかった。 24節

弟子たちは、イエス様の名によって祈ることになりました。イエス様、という名前前は、イエス様ご自身をあらわすもの。「イエス様の名によって」というのは、イエス様といっしょに父なる神様にお祈りするということなのです。ですから、祈るときはふざけたりしないで、真剣に祈らないといけませんね。

もうひとつ。お祈りはイエス様の名によってのみ！ 父なる神様に聞いていただけるのですから、「イエス様のお名前によって」と力よく祈ってくださいね。これ大切！

いの

祈り 天のお父様、祈ることは真剣なことです。イエス様と共に心をこめて祈ります。イエス様のお名前によって祈ります！

4月4日(土)



ヨハネ 16・19～24

求めなさい、そうすれば、与えられるであろう。そして、あなたがたの喜びが満ちあふれるであろう。 24節

イエス様は、イエス様の名によって求めなさい、そうすれば与えられる！ と約束してくださいました。それは、わたしたちが喜びにあふれるため。お祈りにこたえてくださる、父なる神様の力をするためです。

イエス様の名による祈りをしているのに、祈らなかつたら何ともったいない人生！ 祈りましょう。父なる神様は、イエス様の名による祈りの力と喜びを、あなたに体験してほしいのですから。神様のほうが、あなたの祈りをまっていますよ！

いの

祈り 天のお父様、イエス様の名による祈りの力を体験させてください。イエス様のお名前によって祈ります！ アーメン！